



西西だより

臨時号①

平成 3 0 年 3 月 発行
京都市立西京極西小学校
〒 615-0842 京都市右京区西京極藪開町 4-1
TEL(315)1844・FAX (315)6471

URL:http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/nishikyogokunishi-s/

平成 2 9 年度後期アンケートの結果と考察をお知らせします。教職員は、保護者・児童のアンケート結果を受けて、自己の取組の成果と課題を考察・分析しました。結果を客観的且つ謙虚に受け止め、指導や取組の改善を図り、本校の教育をより一層充実させていきたいと考えています。



(1) 確かな学力

確かな学力【児童】H29.前期		じつげんど			
評価項目	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	
1じゅぎょうは、わかりやすい。	73%	22%	4%	1%	
2じゅぎょうちゅうは、すすんではっぴょうしている。	54%	27%	14%	5%	
3しゅくだいは、まいにちわすれずにできている。	66%	21%	11%	2%	
4めあてにむかっていっしょうけんめいにくしゅうしている。	64%	31%	4%	1%	
5がっこういがいでも、すすんでくしよをしている。	54%	27%	14%	5%	
6がくしゅうにひつようなものを、わすれないようにしている。	52%	36%	11%	1%	

確かな学力【保護者】H.29前期		重要度				実現度			
評価項目	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	
1子どもは学習内容を理解し基礎的な学力が身についていること	95%	5%	0%	0%	20%	67%	12%	1%	
2子どもに家庭学習の習慣が身についていること	87%	13%	0%	0%	20%	56%	23%	1%	
3子どもが学習に対して、満足感や達成感をもっていること	92%	8%	0%	0%	26%	54%	18%	2%	
4子どもに学校以外の場でも読書の習慣が身についていること	69%	27%	4%	0%	16%	33%	43%	8%	
5忘れ物をしないように持ち物の準備ができること	91%	9%	0%	0%	21%	49%	27%	3%	

確かな学力【教職員】H.29前期		重要度				実現度			
評価項目	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	
1基礎基本の学力の定着するように取り組んでいる。	100%	0%	0%	0%	21%	79%	0%	0%	
2家庭学習が定着するように取り組んでいる。	93%	7%	0%	0%	28%	65%	7%	0%	
3学習効果上げるために指導方法の工夫と改善を行っている。	100%	0%	0%	0%	12%	88%	0%	0%	
4読書好きの子どもの育成に取り組んでいる。	93%	7%	0%	0%	28%	51%	21%	0%	
5忘れ物がないように指導している。	93%	7%	0%	0%	42%	51%	7%	0%	

確かな学力【保護者】H. 29後期		重要度				実現度			
評価項目	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	
1子どもは学習内容を理解し基礎的な学力が身についていること	93%	7%	0%	0%	20%	62%	17%	1%	
2子どもに家庭学習の習慣が身についていること	88%	12%	0%	0%	20%	56%	23%	1%	
3子どもが学習に対して、満足感や達成感をもっていること	90%	9%	1%	0%	20%	54%	24%	2%	
4子どもに学校以外の場でも読書の習慣が身についていること	72%	25%	3%	0%	16%	34%	37%	13%	
5忘れ物をしないように持ち物の準備ができること	92%	8%	0%	0%	22%	52%	21%	5%	

確かな学力【教職員】H.29後期		重要度				実現度			
評価項目	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	
1基礎基本の学力の定着するように取り組んでいる。	100%	0%	0%	0%	47%	53%	0%	0%	
2家庭学習が定着するように取り組んでいる。	100%	0%	0%	0%	56%	44%	0%	0%	
3学習効果上げるために指導方法の工夫と改善を行っている。	100%	0%	0%	0%	31%	69%	0%	0%	
4読書好きの子どもの育成に取り組んでいる。	100%	0%	0%	0%	50%	50%	0%	0%	
5忘れ物がないように指導している。	100%	0%	0%	0%	37%	63%	0%	0%	

☆アンケートの数値につきましては、少数以下を四捨五入しています。



考察 確かな学力

・「確かな学力」の前期と後期では、それほど大きな差はありませんでした。

・「授業は分かりやすい」の項目では、「あまりできていない」と答えた児童は、前期 5%から後期 6%に増えていましたが、「できていない」と答えた児童は 0%になりました。授業が分からないという児童が 0%になったことは、大変喜ばしいことです。しかし、「授業中は進んで発表している」の項目では、「あまりできていない」と答えた児童が前期 19%から後期 25%に増えました。教職員は「学習効果を上げるために指導の工夫と改善を行っている」の項目で、「よくできている」が前期 12%から後期 31%に増えていただけにとでも残念です。まだまだ授業改善をしていかなければなりません。目的やねらいを明確にするとともに、児童自身に学習の見通しをもたせるような授業展開の工夫、単元を通した学習計画の工夫などを大切に、児童の思考→判断→行動のプロセスを意識し主体的に学習に取り組めるようにしていきたいです。今まで以上に児童一人一人の学習状況を把握し、授業の中でどの児童も発表や主体的な活動ができるように努めます。新学習指導要領で求められている主体的・対話的で深い学びのある学習となるように授業改善を行っていきます。

・「宿題は毎日忘れずにできている」の項目で、「あまりできていない」と答えた児童は、前期 1 3 %から後期 9 %に減っています。また、教職員も「家庭学習が定着するように取り組んでいる」の項目で「あまりできていない」が前期 7 %から後期 0 %になっています。また、児童の「学習に必要な物を忘れないようにしている」の項目では、「あまりできていない」が、前期 1 2 %から後期 1 0 %に減っています。保護者の「忘れ物をしないように持ち物の準備ができること」でも、「あまりできていない」が前期 3 0 %から後期 2 6 %に減っています。教職員も同様に、「忘れ物がないように指導している」では、「あまりできていない」が前期 7 %から後期 0 %に減っています。これらの結果から、教職員がご家庭に持ち物の準備や宿題を毎日する習慣の重要性を伝え、ご家庭の協力が得られたことにより児童に良い習慣が身に付いてきたと考えられます。

・教職員の「読書好きの子どもの育成に取り組んでいる」の項目では、「あまりできていない」が前期 2 1 %から後期 0 %に減っています。しかし、児童の「学校以外でも進んで読書をしている」の項目で、「あまりできていない」が前期 19%から後期 26%に増えるという残念な結果となりました。保護者の「子どもに学校以外の場でも読書の習慣が身に付いていること」の項目では、「あまりできていない」が 51%から 50%とあまり変化がありませんでした。半数ができていないと思われています。また、重要度でも「重要である」と答えた方は 72%にとどまっているのが気になります。教職員は読書の大切さについては伝えてはいるが、実際の児童の姿には表れていないという結果ですので、いっそうの工夫が必要と考えています。放課後の時間の使い方方は児童によって様々ですが、どうぞご家庭でも読書の大切さを伝え、時間が確保できるようにしていただければ幸いです。

(2) 豊かな心・健やかな体

豊かな心・健やかな体 【児童】H.29前期	じつげんど			
評価項目	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
7たのしくがくしゅうできる。	77%	19%	4%	0%
8がっこうでもちいきでも、すすんであいさつをすることができている。	68%	25%	5%	2%
9がっこうのきまりをまもってせいかつすることができる。	60%	30%	9%	1%
10はやね・はやおきをこころがけている。	57%	28%	9%	6%
11あさごはんはまいにちたべている。	86%	9%	4%	1%
12やすみじかんには、そとでげんきにあそんでいる。	62%	26%	9%	3%
13きゅうしょくをおいしくたべている。	80%	15%	4%	1%
14あんぜんにきをつけてせいかつしている。	76%	19%	5%	0%
15がっこうでは、ともだちとなかよくたのしくすごすことができる。	79%	17%	3%	1%
16ひとのいやがることをしたりいったりしていない。	60%	33%	5%	2%

豊かな心・健やかな体 【児童】(H. 29後期)	じつげんど			
評価項目	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
7たのしくがくしゅうできる。	68%	25%	5%	2%
8がっこうでもちいきでも、すすんであいさつをすることができている。	65%	28%	5%	2%
9がっこうのきまりをまもってせいかつすることができる。	53%	38%	8%	1%
10はやね・はやおきをこころがけている。	50%	33%	12%	6%
11あさごはんはまいにちたべている。	87%	9%	3%	1%
12やすみじかんには、そとでげんきにあそんでいる。	63%	21%	11%	5%
13きゅうしょくをおいしくたべている。	72%	23%	5%	0%
14あんぜんにきをつけてせいかつしている。	74%	23%	3%	0%
15がっこうでは、ともだちとなかよくたのしくすごすことができる。	77%	19%	4%	0%
16ひとのいやがることをしたりいったりしていない。	65%	24%	9%	2%

・「学校でも地域でも、進んで挨拶ができている」では、児童の答えは前期とそれほど変化がありませんでしたが、保護者は、「あまりできていない」が前期 17%から後期 12%と減っています。後期は、学校だけではなく家庭や地域でも進んで挨拶をするようになった児童の姿が思い浮かびます。学校では、あいさつ運動を継続したり児童会の取組として劇で挨拶の大切さを伝えたりしています。児童自身が考え、実行することで学校全体に広まり意識が高まってきています。

豊かな心・健やかな体 【保護者】H. .29前期	重要度				実現度			
評価項目	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
1子どもが楽しく学校に通っていること	97%	3%	0%	0%	61%	36%	2%	1%
2子どもが家庭でも地域でも進んであいさつをしていること	89%	11%	0%	0%	31%	52%	16%	1%
3子どもが学校のきまりや社会のルールを守って生活していること	93%	7%	0%	0%	39%	55%	6%	0%
4子どもが早寝早起きを心がけること	88%	12%	0%	0%	34%	48%	16%	2%
5子どもが毎朝朝食をとること	92%	8%	0%	0%	72%	23%	4%	1%
6子どもが健康で体力のある体をつくらうとすること	92%	8%	0%	0%	47%	48%	4%	1%
7子どもが自分や友だちを大切にすごしていること	95%	5%	0%	0%	48%	50%	2%	0%

豊かな心・健やかな体 【保護者】H.29後期	重要度				実現度			
評価項目	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
1子どもが楽しく学校に通っていること	97%	3%	0%	0%	61%	36%	2%	1%
2子どもが家庭でも地域でも進んであいさつをしていること	87%	13%	0%	0%	27%	61%	10%	2%
3子どもが学校のきまりや社会のルールを守って生活していること	91%	9%	0%	0%	35%	61%	3%	1%
4子どもが早寝早起きを心がけること	89%	11%	0%	0%	32%	48%	18%	2%
5子どもが毎朝朝食をとること	93%	7%	0%	0%	73%	22%	4%	1%
6子どもが健康で体力のある体をつくらうとすること	92%	8%	0%	0%	40%	53%	6%	1%
7子どもが自分や友だちを大切にすごしていること	95%	5%	0%	0%	53%	46%	1%	0%

・「学校では、友達と仲良く楽しく過ごすことができる」では、「できていない」と答えた児童が前期 1%から後期 0%に減っています。わずかでも変化があったことを教職員は喜んでみています。保護者の「子どもが自分や友達を大切にすごしていること」の項目で、「よくできている」が前期 48%から53%に増えていることも関連していそうです。これは、教職員の「外遊びを進め健康な体作りに取り組んでいる」の項目で「よくできている」が39%から56%に、「人権の大切さがわかる子供の育成に努めている」の項目で「よくできている」の項目で31%が50%に増えていることから、教職員が毎日笑顔で登校できるように意識して取り組んだ結果であると考えています。

豊かな心・健やかな体 【教職員】H.29前期	重要度				実現度			
評価項目	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
1子どもが楽しく学校生活を送れるように、一人一人を大切にした学級経営を進めている。	100%	0%	0%	0%	46%	54%	0%	0%
2その場に合わせた挨拶ができるように指導している。	100%	0%	0%	0%	28%	72%	0%	0%
3学校や社会のきまりを守って生活するように指導している。	100%	0%	0%	0%	31%	69%	0%	0%
4「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的生活習慣確立のための取組を進めている。	93%	7%	0%	0%	15%	78%	7%	0%
5外遊びをすすめ、健康な体作りに取り組んでいる。	78%	22%	0%	0%	39%	61%	0%	0%
6「食育」の指導に取り組んでいる。	78%	22%	0%	0%	31%	62%	7%	0%
7自らの命を守る、安全・安心の取組を重視している。	100%	0%	0%	0%	46%	54%	0%	0%
8人権の大切さがわかる子どもの育成に努めている。	100%	0%	0%	0%	31%	69%	0%	0%
9道徳教育の充実に努めている。	85%	14%	0%	0%	31%	69%	0%	0%

豊かな心・健やかな体 【教職員】H.29後期	重要度				実現度			
評価項目	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
1子どもが楽しく学校生活を送れるように、一人一人を大切にした学級経営を進めている。	100%	0%	0%	0%	50%	50%	0%	0%
2その場に合わせた挨拶ができるように指導している。	100%	0%	0%	0%	53%	47%	0%	0%
3学校や社会のきまりを守って生活するように指導している。	100%	0%	0%	0%	47%	53%	0%	0%
4「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的生活習慣確立のための取組を進めている。	100%	0%	0%	0%	30%	60%	10%	0%
5外遊びをすすめ、健康な体作りに取り組んでいる。	100%	0%	0%	0%	56%	44%	0%	0%
6「食育」の指導に取り組んでいる。	100%	0%	0%	0%	56%	44%	0%	0%
7自らの命を守る、安全・安心の取組を重視している。	100%	0%	0%	0%	69%	31%	0%	0%
8人権の大切さがわかる子どもの育成に努めている。	100%	0%	0%	0%	50%	50%	0%	0%
9道徳教育の充実に努めている。	100%	0%	0%	0%	31%	69%	0%	0%

考察 豊かな心・健やかな体

・「豊かな心・健やかな体」の項目も前期と同様、ほとんどの項目で「だいたいできている」が9割をこえています。大変嬉しく思います。

・「学校できまりを守って生活することができている」では、「あまりできていない」と答えた児童が前期 10%から後期 9%に減っています。保護者も「子どもが学校のきまりや社会のルールを守って生活していること」の項目で、「あまりできていない」が6%から4%に下がっています。教職員も「学校や社会のきまりを守って生活するように指導している」の項目で「よくできている」が31%から47%になっています。保護者の方が児童の生活に関心を持ち、困りごとや悩みごとの相談にのったり児童自身が自分をみつめることができるように声をかけたりしていただいている結果ではないでしょうか。教職員は、トラブルのあった時だけではなく、様々な場面できまりについてクラスで話し合う機会を設け、意識を高めてきています。





西西だより

臨時号②



学校・家庭・地域の連携【児童】H. 29前期	じつげんど			
評価項目	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
17ちいきぎょうじには、すすんでさんかしている。	45%	27%	20%	8%

学校・家庭・地域の連携【児童】H. 29後期	じつげんど			
評価項目	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
17ちいきぎょうじには、すすんでさんかしている。	46%	26%	18%	11%

学校・家庭・地域の連携【保護者】H. 29前期	重要度				実現度			
評価項目	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
1学校の教育方針が保護者に伝わっていること	80%	19%	1%	0%	32%	61%	6%	1%
2学校が人権を大切にした教育を行っていること	89%	11%	0%	0%	36%	60%	4%	0%
3学校や学年の取組が、おたよりや懇談会などを通して保護者に伝わっていること	82%	18%	0%	0%	42%	55%	3%	0%
4保護者が教職員に相談しやすいこと	85%	15%	0%	0%	37%	56%	5%	2%
5保護者が学校行事や地域行事に積極的に参加すること	55%	42%	3%	0%	14%	62%	21%	3%
6子どもが学校行事や地域行事に積極的に参加すること	60%	38%	2%	0%	22%	66%	10%	2%

学校・家庭・地域の連携【保護者】H. 29後期	重要度				実現度			
評価項目	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
1学校の教育方針が保護者に伝わっていること	82%	18%	0%	0%	29%	65%	5%	1%
2学校が人権を大切にした教育を行っていること	87%	13%	0%	0%	39%	56%	4%	1%
3学校や学年の取組が、おたよりや懇談会などを通して保護者に伝わっていること	84%	16%	0%	0%	46%	50%	4%	0%
4保護者が教職員に相談しやすいこと	85%	15%	0%	0%	42%	50%	7%	1%
5保護者が学校行事や地域行事に積極的に参加すること	60%	35%	5%	0%	14%	62%	22%	2%
6子どもが学校行事や地域行事に積極的に参加すること	66%	31%	3%	0%	21%	63%	15%	1%

学校・家庭・地域の連携【教職員】H.29前期	重要度				実現度			
評価項目	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
1家庭に学校教育方針が伝わるように努めている。	100%	0%	0%	0%	15%	77%	8%	0%
2家庭に人権教育を大切にしていることが伝わるように努めている。	100%	0%	0%	0%	23%	77%	0%	0%
3学年だよりや学級だより、懇談会などで、家庭との連携を図っている。	92%	8%	0%	0%	31%	61%	8%	0%
4保護者と話し合える関係づくりに努めている。	100%	0%	0%	0%	31%	61%	8%	0%
5学校行事の円滑な運営に努め、地域行事に積極的に参加している。	75%	25%	0%	0%	15%	71%	14%	0%

学校・家庭・地域の連携【教職員】H.29後期	重要度				実現度			
評価項目	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
1家庭に学校教育方針が伝わるように努めている。	100%	0%	0%	0%	44%	56%	0%	0%
2家庭に人権教育を大切にしていることが伝わるように努めている。	100%	0%	0%	0%	44%	56%	0%	0%
3学年だよりや学級だより、懇談会などで、家庭との連携を図っている。	100%	0%	0%	0%	53%	47%	0%	0%
4保護者と話し合える関係づくりに努めている。	100%	0%	0%	0%	50%	50%	0%	0%
5学校行事の円滑な運営に努め、地域行事に積極的に参加している。	81%	19%	0%	0%	15%	71%	14%	0%

考察 学校・家庭・地域の連携

・「学校・家庭・地域の連携」この項目も前期と大きく変わるところはありませんでした。

・保護者の「学校の教育目標が保護者に伝わっていること」の項目では、「あまりできていない」が 7%から 6%に下がっています。教職員はすべての項目で「だいたいできている」の割合が上がっています。意識を高く取り組んだことが少しずつ結果に表れているのだと思います。西京極西小学校の「地域ぐるみの教育推進」のよさを生かしてこれまでの連携、協力をいっそう高めていきたいです。学校・家庭・地域が一体となって児童の学校生活をよりよいものにしていきたいと考えます。そのために、それぞれが自らを振り返り、お互いに高め合えるような双方向の信頼関係を構築していきたいです。

自由記述欄より

今回もたくさんのご意見をいただきました。一部を紹介します。

(地域や外部の方の声)

・校内で子ども達はしっかりあいさつしてくれている。場所がかわると知らない人への警戒心から出来ないこともあるようだ。縦わりでも仲よく遊んでおり、やさしい子が多い。学校が楽しいのが分かる。もっと地域行事に多くの家庭が参加できるとよいと思う。(特に防災関係)

・挨拶については、地域でも挨拶してくれる子が多いので「多い」と答えました。



(子供たちの声)

- ・いつもいつも勉強や知らないことを教えてもらってありがとうございます。
- ・授業が分かりやすいです。
- ・給食がおいしい！！
- ・宿題が忘れずにできています。
- ・わたしは、運動も好きだけど読書も大好きです。
- ・どうしたら宿題がすぐにできますか。
- ・忘れ物が多いので忘れないように頑張ります。
- ・もしまた、悩みがあったら聞いてください。
- ・呼捨てられるのがいやだ。
- ・きつい言葉したくないけど気づいたらしてしまっているのはどうしたらいいですか。心掛けてはいます。
- ・今度ちいき行事にさんかしてみたい。

☆よかったというご意見

(保護者の声)

- ・毎日楽しんで登校している事がとても大事だと思います。西小では、先生方、学びの先生、児童館の先生、上級生とたくさんの関わりがもてて見守っていただける事にとても感謝しています。
- ・担任の先生がとても話しやすく、子供自身もすごくなついていて安心しています。
- ・いつもありがとうございます。
- ・いつも丁寧なご指導ありがとうございます。子供も楽しく毎日学校へ通っていて嬉しく思います。授業の中でもいろいろな経験をさせてもらって親として日々成長を感じます。何かとご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。
- ・運動会のダンス、とてもみんな可愛かったです。学習発表会もとても上手に道具を作ったり頑張ってセリフも言えて2年生になるととても大きく成長した姿に感動しました。そして、担任の先生とのお話を笑顔で話してくれています。いろんな会話をしていただいているようで、本人もとても喜んでいきます。
- ・障害や性別、LGBT、宗教等にかかわらず平等であるとの教育の重要性を感じます。独居老人への関わりはとてもよい事だと思います。高齢者の対応についても小学生から考えるよい機会になったと思います。
- ・友禅染、きれいに染められたハンカチを見せて喜んでいました。楽しかったようでありありがとうございます。
- ・学習発表会の演奏はとても良かったです。昨年度も感動しましたが、この学年の演奏は素晴らしいです。
- ・6年生も後半になり、担任の先生が中学校を見据えた取組をしてくださっている事がお便りや子供の話から伝わってきて有り難いと思います。楽しい学校に通えるのは先生方、地域の方のおかげです。

☆改善点も幾つかありました。

- ・集団登校の悪さが目立つ。
- ・兄弟や姉妹がいる家にお便りを渡す際、下の子ではなく上の子に渡してほしい。
- ・学年のホームページの更新が少なく残念に思います。クラスでの出来事をもう少し保護者に発信してほしいと思います。
- ・トイレが古く汚い事が気になります。（南校舎3階）

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
『子どもを共に育む京都市民憲章』を実践しましょう！



ふりかえって

- ・学校ではこの年度末、今年度の取組を振り返り、4月からの新しい年度の計画を立てています。取組を振り返るとき、地域や保護者の方々から寄せて頂いた学校いきいき調査は、大変重要な資料となります。私たち教職員は、この結果を真摯に受け止め、次の実践に生かそうとしています。
今回は、今年度実施した、6月と12月の2回の学校いきいき調査の結果を比較し、考察したことをお伝えしました。

- ・「確かな学力」では、今年度、毎時間の授業に「めあて」と「振り返り」を意識して行い、見通しをもって学習に取り組める工夫、全ての児童にとって分かりやすく楽しい授業の工夫に取り組んできました。また、家庭学習の重要性や自主学習の例などを各ご家庭にプリントや懇談会で知らせたり児童に自主学習ノートのように例を示したりしてきました。後期は、ご家庭の協力を感じる結果となりました。学力の向上のためには、家庭との協力が欠かせません。どうぞこれからもよろしくお願い致します。これからも私たち教職員は、来年度から実施される新教育課程に向けて研修を積み、主体的・対話的で深い学びとなるような取組を進めていきたいと考えています。

- ・「豊かな心」では、自分がすることで周りのみんなが気持ちよく生活できることを自らすすんで行い、楽しい学校生活が送れるようにしたいと考えています。今年度学校では「西京極西小学校のやくそく」を見直し、きまりだけではなく、マナーについて話し合い新しい「みんなで気持ちよくすごすために」にまとめ、保護者の方々から配布したり学級で指導したりしてきました。挨拶については、保護者や地域の方々からお褒めの言葉をいただいています。PTAや見守り隊の方々による登下校時の挨拶の励行、児童会や教職員の取組の結果だと思います。このよい伝統を引続き次年度にも生かしていきたいです。

- ・「健やかな体」では、学校では外遊びを進めています。中間休みにはクラス全員で遊ぶ「みんな遊び」や異年齢の縦割りグループを作りこころの日に遊ぶ等の取組を行っています。外遊びをすることで体力作りにも様々なことを学ぶよい機会にもなっています。また、夏季休業や冬季休業明けには生活点検を行い規則正しい生活リズムに戻るようになっています。生活点検の結果、後期は、「はやおき」があまりできていないけれども、「はみがき」や「朝ごはんを食べること」では向上していることが分かりました。このようにさまざまな場面で児童の実態を把握し次の指導に生かすようにしています。

- ・その他、集団登校の問題等地域との連携を深めていきたいです。お便りは1年生が迷わないように、兄弟、姉妹のいる場合は下の学年の児童が持つて帰るようにしています。ホームページやおたより、懇談会など様々な方法・機会を逃さず、家庭に発信し、共に子供を育てていきたいと考えています。校内緒整備につきましては、これからも教育委員会とも連携を図りながら計画的に善処していきます。

- ・地域や外部の方々からも温かい声が届きました。ありがとうございました。

☆学校いきいき調査を実施することでそれぞれの課題を把握し、改善に向けた取組をしていきたいと考えています。
どうぞこれからも、ご協力お願い致します。